



## ロシアは変わりゆくのか ～Россия, ты будешь изменяться?

在ロシア日本国大使館 経済部 なかがわ 中川 たくや 拓哉



### 1. はじめに

ロシア・モスクワに、情報通信、日本企業支援等の担当として2009年5月に赴任しました。人によっては、暮らしにくいというこの街で、多くの人々に会い、たくさんのロシア人に助けられて家族5人で暮らしています。

今思う、うれしくも悲しいことは、ロシア人は日本や日本人が好きで、純粋なあこがれを持っている一方で、残念ながら、それは日本への片思いであることです。今回、日本ITU協会さんからこのような好機をいただきましたので、自分の感じたロシア・モスクワの姿をお知らせしたいと思います。「よく分からない国、怖い国」という紋切り型の理解を取り除く一助になることで、少しでもこの両国が近しくなればと切に思います。



モスクワ市内のノヴォデヴォッチ修道院（世界遺産）も冬になると、そり遊びができます。チャイコフスキーが白鳥の湖を考えたという池もすっかり凍っています。ロシアの子供たちはマイナス15度までは外で遊びます。

### 2. ロシアのICT

#### (1) 市場概観

ロシア連邦の人口は日本より少し多い程度の1.4億人ですが、町と町が相当な距離を持って点在しているため、固定電話回線の普及率は約3割にとどまります。携帯電話はプリペ

イド型が主流なこともあって、正確な普及率は測れませんが、SIMカード発行枚数では人口を上回っています。実態ベースでは9割弱くらいの普及率ではないかと言われています。

固定のブロードバンドインターネットは、モスクワやサンクトペテルブルクなどの都市部では約6割の普及率ですが、地方部を含めると約1割にとどまります。とはいえ、設備投資が進まないというわけではなく、当地通信系コンサルタント会社（iKS Consulting）によると、光ファイバー部材の需要が高くなっており、2008年のいわゆるリーマンショックで一時期落ち込んだものの、ここ3年は都市間やマンションへの光ファイバーを中心に前年比1.5倍でここ3年推移しているとのことです。また、都市近郊や地方都市で、固定系通信インフラが未整備などところでは、3G移動体通信システムを使ったインターネット接続を自宅で行うケースが多いそうです。これは他の新興国や発展途上国と似た傾向かもしれません。

ロシアのインターネット上におけるコンテンツ産業については、残念ながらまだ違法ダウンロードが簡単に行える環境にあり、ビジネスになるとは言い難い状況です。他方、オンラインゲームは有料でも人気を博しており、前述のコンサルタント会社の話では、単純なゲームでも平均単価が100ルーブル（約270円）で十分売れるとのことでした。その他、SNSサイトВ Контактеや総合ポータルmail.ru、Yandexなどもかなり浸透しており、都市部を中心に年齢層も幅広くインターネットが利用されています。



ロシア最大の情報通信系展示会「スビャジ・エキスポコム」です。政府や政府系研究所の展示も多く見られます。2011年のテーマはデジタルコンテンツでした。



## (2) 国内通信政策とロシアが抱える苦悩

通信政策は一義的には主管庁である通信・マスコミ省が責任を負っています。また、機器の認証や試験は、連邦単一企業という形で民営化された、通信・マスコミ省管轄の研究所が行います。現在のショゴレフ大臣は英仏独語を自由に話し、欧州留学の経験や、国営タス通信社の欧州での業務経験もあってか、新しい技術を主に欧州から取り入れることに熱心です。

しかし、ロシアにはまだまだ彼を悩ませる多くの困難があります。主なものは以下の二つと思われます。

### ア 国内通信機器メーカーの欠如

かつてソ連時代は、電話交換機からテレビ、ラジオ、電話機までも自国で生産していましたが、現在となっては、通信機器で競争力を持ち得る企業は皆無と言っていい状況です。これは、通信機器市場に限らず、全産業分野でロシア共通の悩みとも言えます。

この理由として、大学等での基礎研究のレベルが高くて、製品への応用がうまくいかないことを挙げる人もいますし、旧国営企業等の大企業偏重に伴って、中小企業が育っていないことや、ビジネス環境の厳しさから、近年でも優秀な科学者や技術者の多くが海外に流出してしまうこともよく言われます。その他にも、筆者が最近聞いてなるほどと思ったのは、ソ連時代の工場はネジ一本含めて全て一つの会社で作られていたため、価格競争力の強化や裾野産業の育成ができず、淘汰されていったというものです。

このような状況を打開すべく、通信・マスコミ省は国内通信機器産業の育成のため、政府調達時に国内生産品の採用などを義務付ける政府決定などを作りました。外国企業のロシア工場進出は受け入れても、部品の国内調達割合を設定するなど、国内産業の振興を行おうとしています。

### イ 「力の省庁」による干渉

主に周波数監理で際立ちますが、国防省や内務省などの治安・軍関係の省庁（力の省庁と呼ばれる）との摩擦も新しい通信技術の導入時に目立ちます。ロシアでは、過去にはほとんどの無線周波数が国防省や内務省に割り当てられたため、新しい通信技術が出てくるたびに、これら「力の省庁」と「長く曲がりくねった」調整を強いられます。

例えば第3世代移動通信システム（3G）は2007年に免許が交付されましたが、最初に導入されたのは国内第2の都市サンクトペテルブルクであり、モスクワでサービスインが開始されたのは2009年末でした。導入前にメドヴェージェフ大統領は「首都で3Gが使えないのは屈辱的ですからある」と発言し

たことがあります。LTEについては2012年4月運用開始予定ですが、周波数コンペの結果とは異なる事業者を中心にコンソーシアムが形成されたり、国防省傘下の企業が急に名乗りを上げるなど、長い紆余曲折を経て決定されました。

### (3) 日ロ間における政府間交流

日本の総務省とロシアの通信・マスコミ省等においては、日ロICT政府間会合及び日ロICTフォーラムが対話の場として設定されています。その他、2011年12月で第20回を数えた、日ロ衛星周波数調整会議や、同時期に第1回が開催された日ロ電波監視会合では、連邦単一企業・総合周波数センタを中心にロシア側と交渉や意見交換を行ってまいりました。

### (4) サイバー空間への規制

ロシアでは、本年3月に行われた大統領選挙等の際に、現体制への反対デモなどの召集にFacebookなどのSNSサイトが用いられました。その他にも、コーカサス系民族による爆弾テロが首都モスクワでも起こっており、テロを誘発する情報がインターネット上を介して伝わっていることから、治安当局におけるインターネット上の監視が行われていると言われています。また、ロシアだけでなく、新興・途上国においても、ネット規制・政府管理強化の動きがあり、中国はロシア等とともに、国連等の場において、規則策定や枠組み作りのための提案を行っています。

これに対し、アメリカ、イギリスなどの欧米諸国は、首脳・閣僚が主導して「国境を越える情報の自由な流通」「インターネットのオープン性」「ネット上での表現の自由、基本的人権の保障」等の基本理念を策定・公表し、G8ドーベルサミット首脳宣言や、官民参加のマルチの会合において、議論とコンセンサス作りを行っています。

このように、世界的にはサイバー空間の在り方に関する国際ルール作りの主導権争いが先鋭化してきました。サイバー空間における国際ルールは、グローバルなサービス提供やビジネス展開のチャンスにつながり得る一方で、我が国の意向を適切に反映させなければ、ICTによるイノベーションを阻害するハードルともなり得ます。いかなる国際ルールが自国にとって有利に、あるいは、不利になるかなど、サイバー空間の国際ルールの在り方に関連して、政府と民間がともに積極的に検討し、この議論への関与を深める必要があります。



## 3. ロシア人気質

### (1) 無愛想な優しさ

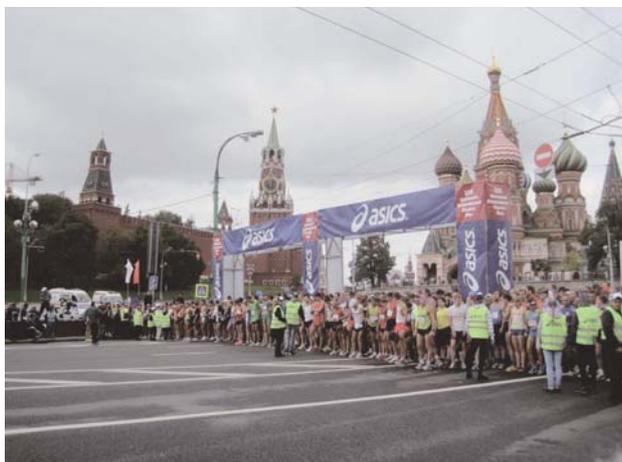
ロシア人は、日本人から見ると強面でぶっきらぼうな話し方をします。ただ、話す内容がわかるようになると、実はかなり優しく、親身になってくれていることがよくあります。例えば、連れてきている子供の服が薄すぎやしないか、とか、道に迷っているなら一緒に行こう、などです。ならば、なぜあんなに笑顔が出ないものか、不思議ですね。

これは、感情に対するストレートさの違いのようです。ロシア人の優しさは、言葉と行動に表れていて、そのとき特にうれしいというわけでないのなら、何も作り笑いをする必要がない、と。他方、日本人は遠慮深く、感情をコントロールしていて、いつも微笑みを絶やさず、嫌ということを言わない。これはロシア人にとっては、礼儀正しさを秩序を守る意味で尊敬されるものの、ときには思っていることを言わない、という偽りの行動や言動に映るようです。

あるロシア人に「日本では店員が笑顔で迎えると言いますが、いいことなんですか?」と言われました。どうなんでしょうね。

### (2) 仲間うち

日本人には真に理解することは難しいことですが、厳しい自然と厳しい政治体制で生き抜いてきたロシア・ソ連人は、必然的に助け合うことを求められてきました。このため、いったん仲良くなると、日本人には過剰とも思えるくらい、濃い付き合いが始まります。これは、簡単に仲良くなれても絶対越えられない一線を感じられる、先進主要国の人々とは全



2011年のモスクワ国際平和マラソンはクレムリンがスタート地点でした。冬は長いので、体力作りのためにランニングを始めました。フルマラソンはまだ経験はありません。

く違う気がします。ただ、ロシアのこの感覚は裏目に出ることがあります。つまり、悪いこととは分かりつつも、助け合うために規則やルールを重視しないことがあることから、汚職等の不正につながりかねないからです。

## 4. 出張者にとってのロシア指南

### (1) 食事や水

食事は脂っこくて食べにくいと思われがちですが、比較的日本人にも食べやすいものも多くあります。赤かぶのスープ「ボルシチ」や、溶かしバターが入った鳥肉のカツレツ「キエフスキーカツレツ」などです。これらは本当はウクライナ料理ですので、本当のロシア料理は、肉のスープ「サリャンカ」や、四角く切ったじゃがいもやにんじんに豆を混ぜてマヨネーズ味に仕上げた「オリビエサラダ」などです。有名な「ピロシキ」は揚げていないものが本場です。是非お試しください

水は、水道水でも直ちにおなかを壊すものではありませんが、なるべくミネラルウォーターを飲んでおけば問題はありません。

### (2) お土産

最もありがちな失敗として、出張前の壮行会でキャビアを約束することです。50グラムで7,000ルーブル（2万1千円）は下りませんから、お気をつけになってください。チョコレート



旧国営百貨店「グム」です。ソ連崩壊時は物不足の象徴でしたが、今や有名ファッションブランドが軒を連ねる高級店です。クリスマスの装飾も優美です。